

いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~KAIHO Communication~

第92号

発行日 2009年7月1日発行

2009世界の平和と環境を考える研修

こんにちは、近藤です。いきなり大それたタイトルとなりました。これは韓国・南ソウル大学のアン副教授が企画された学生たちの研修活動の標題です。能登半島から島根半島までを自転車で海岸沿いに走り、2週間かけて砂浜の清掃活動に取り組むもので、今回が4回目。



私は昨年、アン先生がこの活動を行っていることを知りました。先生は「韓国から出たゴミが日本海を渡り日本の海岸に漂着していることを知り、この事実を学生たちに知らせるとともに、韓国人が自ら清掃活動に取り組むべきと思った」とその動機を語られました。私は、金沢に来る予定もあると聞いて、学生たちにおいしいものでも食べてもらおうと考え、お誘いすると、きっぱりと断られたのです。

先生は「そういう贅沢をするために日本へ来るのではありません。日本海沿岸に捨てられたゴミを拾うことで、学生たちの地球全体を守る意識を高めたい。そうしたとき、豪華な食事よりもパンの耳を食べながらのほうが、ずっと良いと思う。できればパンの耳をいただきたいです」私は自分が恥ずかしくなっていました。そして先生の志の高さに感動しました。「来年はぜひ石

川県の海岸へも立ち寄ってください、我々もぜひ参加しますと約束しました」

そして今年6月21日、南ソウル大学の学生約30名のほか当社社員40数名、さらに金沢星稜大学、金沢工業大学の学生、県漁協押水支所の漁業者の方々、宝達志水町役場の職員の方々、計160数名が参加して、千里浜海岸約3キロの浜を歩き、ゴミを拾い集めました。

実際に拾い集めてみると、確かにハングル文字の入ったゴミが目につきます。特にプラスチック系のゴミは腐食しないので、流れてくるのでしょう。ただし、当然ながら圧倒的に日本語のゴミのほうが多い。しかも、その量は想像をはるかに上回るものでした。

およそ1時間の活動でしたが、我々の手で少しは綺麗になった砂浜を見て、清々しさを感じた日でした。

2009年6月20日(土) 南ソウル大学生 工場見学

6月21日(日) 南ソウル大学生と海岸清掃&交流会

6月20日(土)に韓国から来た南ソウル大学生29名と金沢工大学生9名が工場見学に来訪されました。翌日の6月21日(日)には、南ソウル大学生29名と金沢工大学生18名、星稜大学生18名と宝達志水町の役場職員・県漁協押水支所の漁業関係者60名、会宝産業社員・家族44名の総勢169名で宝達志水町の今浜海岸と北川尻海岸の清掃をしました。



業務支援室 松本 祥子さんから
コメントをいただきました。



6月21日に宝達志水町の今浜海岸を清掃しました。韓国から来県された南ソウル大学の安教授、学生をはじめ、宝達志水町の方々、金沢工業大学及び星稜大学の学生、会宝産業の社員と家族も参加し、総勢169名で約3キロに渡り海岸のゴミを拾い集めました。

清掃前は、一面にペットボトルや発泡スチロール等が散乱する海岸でしたが、参加者全員で汗を流してゴミを拾った結果、今浜海岸は塵一つない美しい姿へと生まれ変わりました。拾い集めたゴミの中には国境を越えて漂着した海外からの物もあり、地球環境は一部の人だけでなく、世界中の人達で守って行かなければならないと認識を深めました。この度の活動は有意義なものでしたが、本来はゴミを捨てないことが一番の環境保護ですね。



今回、もうすぐ3歳になる娘と参加させていただきました。わざわざ韓国から清掃をする為に来日するというのを聞き、それに感動したのと同時に自分もやらなければという衝動にかられました。

実際に清掃してみると思いのほかゴミが多いことに驚きました。遠くから見るととてもきれいな海ですが、近くで見ると無数の危険物が砂浜に廃棄されていました。落ちているものはペットボトルやビニールゴミなどのプラスチック製品が数多くあり、これらは分別することでリサイクルできるものばかりでした。

限りある自然や地下資源を守りきる為には、まず私達の意識から変えていかなければと考えさせられました。自分達から身近にできることはたくさんあるはず。これからも意識してこのような活動に積極的に参加します。日焼け後のヒリヒリ感はいい思い出となりました。

国際業務部 高崎 洋二さん
からコメントをいただきました。

経費削減の事例

～今月は千葉集荷センターです～

私たちは車を扱う仕事をさせて頂いています。車には前輪と後輪があります。売上を上げることを車の前輪とするならば、経費削減は車の後輪のようなものです。前輪と後輪がうまく同時に回らなくては車（四輪駆動車）は前に進みません。またブレーキを踏んだとき後輪も同時にブレーキがかかるはずで、売上を上げるとともに経費削減に取り組むことこそ、今の私たちに必要なことだと考えています。

今月は千葉で経費の削減をするために行っていることをご紹介します。

①千葉から本社への部品の移動をなるべく少なくして千葉で出荷するようにする。

現在のところ本社便は昨年と今年を比べると約半分になっています。フードマイレージという言葉ができたようにエンジンの地産地消です。中古エンジンマイレージという言葉ができるかもしれません。

②7日以内の出張を行うときは往復運賃の適応を受ける首都圏往復切符を使う。

これにより1回の出張で約4,000円ほどの経費削減になります。これは出張の多いアライアンス部門や上司の出張を参考にしました。これにはまだまだ改善することができそうです。

③千葉では作業員であるとともに営業マンであるよう心がけています。

千葉の売上を上げると同時に商品仕入を行う。他部門の売上を上げるとともに千葉の売上を上げる。売上仕入を同時に行うことにより時間短縮効率化を図っています。2つ以上の仕事を同時に行い効率を上げることが、経費削減につながり私たちにも環境にもやさしい千葉のグリーン革命です。今後もプリウスのような存在になれるよう努力を惜しみません。



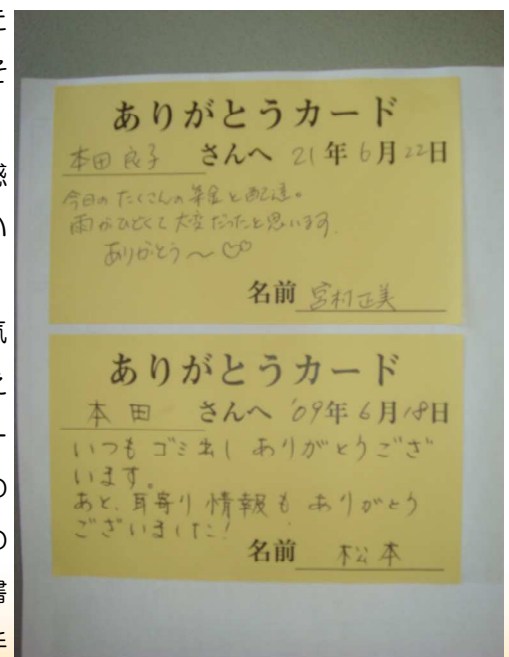
今月のありがとう

～手書きの温もり～

こんにちは、国内部品課の本田です。今月は私がありがとうカードについて書かせていただくことになりました。

私が会宝産業の仲間入りをしてから一年弱、わからないことがまだまだたくさんあり、また力仕事になると一人ではどうにもならないことがあります。そんな時に必ず誰かが手をさしのべてくれたりアドバイスをしてくれたり、助けられながらの私は口ベタで「ありがとうございます」という言葉でしか感謝の思いを伝えられませんでした。本当はそれ以上にありがたいと思っているのにピッタリの言葉を見つけ、伝えることができずにいました。

それが今では、「ありがとうございます」と一瞬でしか伝えられなかった気持ちを、シャイな私でもストレートに伝えることができます。それがありがとうカードです。また受け止める側になってもその気持ちをじっくりと感じとる事ができるのです。最近はメールなどが多く、手紙や手書きの良さを忘れかけていました。やはり手書きは良いものですね！温かいです。毎日カードを書くことが自然と習慣となった今ではどんな小さなありがとうもしっかり心に刻まれています。



相場はどうなの? ~生産部より~

こんにちは。会宝産業の山口です。

5月度実績 入庫台数：963台 処理台数：1,051台 ありがとうございます!!

今月はスクラップの中の“鉛(Pb)”についてお話をしていこうと思います。

実は今、中国では電動バイクや電動アシスト付き自転車(こちらは日本でもおなじみですね)が空前の大ヒットを記録している事をご存知でしょうか?? 電動と言えば電池。電池と言えば主流はまだまだ鉛蓄電池なのです。こんな恩恵を受けて鉛の相場は世界経済が底を打っていても、お隣中国のお陰で何とか維持が出来ている状態なのです。

しかしヒット商品も永続的に売れ行きが上がっていく訳では無く、最近になって中国の相場も若干ですが、弱含みで



推移を始めています。これがどういう事かと言うと、いくら現在の相場が良くても収益性が高い素材でも、それが何か1つ(1国)の要因である場合、その要因に全てが左右されてしまうと言う事です。もし、中国が突然鉛の輸入をストップしたとします。そうすれば日本国内や韓国(韓国は鉛の70%を中国に輸出しています。)に鉛の在庫が溢れ、価格も暴落する事となるでしょう。

相場は突然に上がると大きな利益を生みますが、また逆も有ります。1つの国や投機に惑わされず、しっかりと需要や供給、市場の調査を行って行く事が相場と長く付き合っていく秘訣だと私は思います。

(参考：日刊市況通信)

今月のクレーム 『ドアの歪み』

皆様こんにちは、国内部品課フロントの大森です。

今月はドアの歪みという内容でお客様にご迷惑をお掛けいたしました。

その内容を簡単にご説明させていただきます。それは、当社からお送りさせていただいたドアが正しく装着できないという内容でした。ドアの後ろ側が浮いてしまい最終的には、パーツ自体が歪んでいたというものでした。在庫状態はパネルの擦りキズだったのですが、現車にはきれいについているように見えていました。しかし、実際はドアが曲がっており、そのまま正常な車に取り付けると、正しく装着できないというクレームでした。

今月はセンターマフラーでも同じように、歪みにより正しく装着できないというクレームを出してしまいました。お客様には大変ご迷惑をおかけいたしました。申し訳ございませんでした。また改めて商品の取り扱いに関する専門知識の重要性を痛感する一件でした。

日頃から当社で重んじている現場・現物・現実の三現主義を忘れず、常にお客様の声を大切にして、お客さまによるこんでいただけるよう、これからもより良い品質管理を心がけていきます。

申し訳ございません



会宝産業株式会社

〒920-0209
金沢市東蚊爪町1-25
車輛課 (車輛引取り・査定)
電話 076-237-5133
FAX 076-237-1950
Email: info@kaiho.co.jp

〒920-0209
金沢市東蚊爪町1-23-3
部品課 (部品注文/担当:大森・鹿野)
電話 076-237-5138
FAX 076-237-6090
Email: kokunai@kaiho.co.jp

ホームページもご覧ください。
<http://www.kaiho.co.jp>